

キヤノン株式会社  
2023年経営方針説明会

# メディカルグループ

2023年3月6日

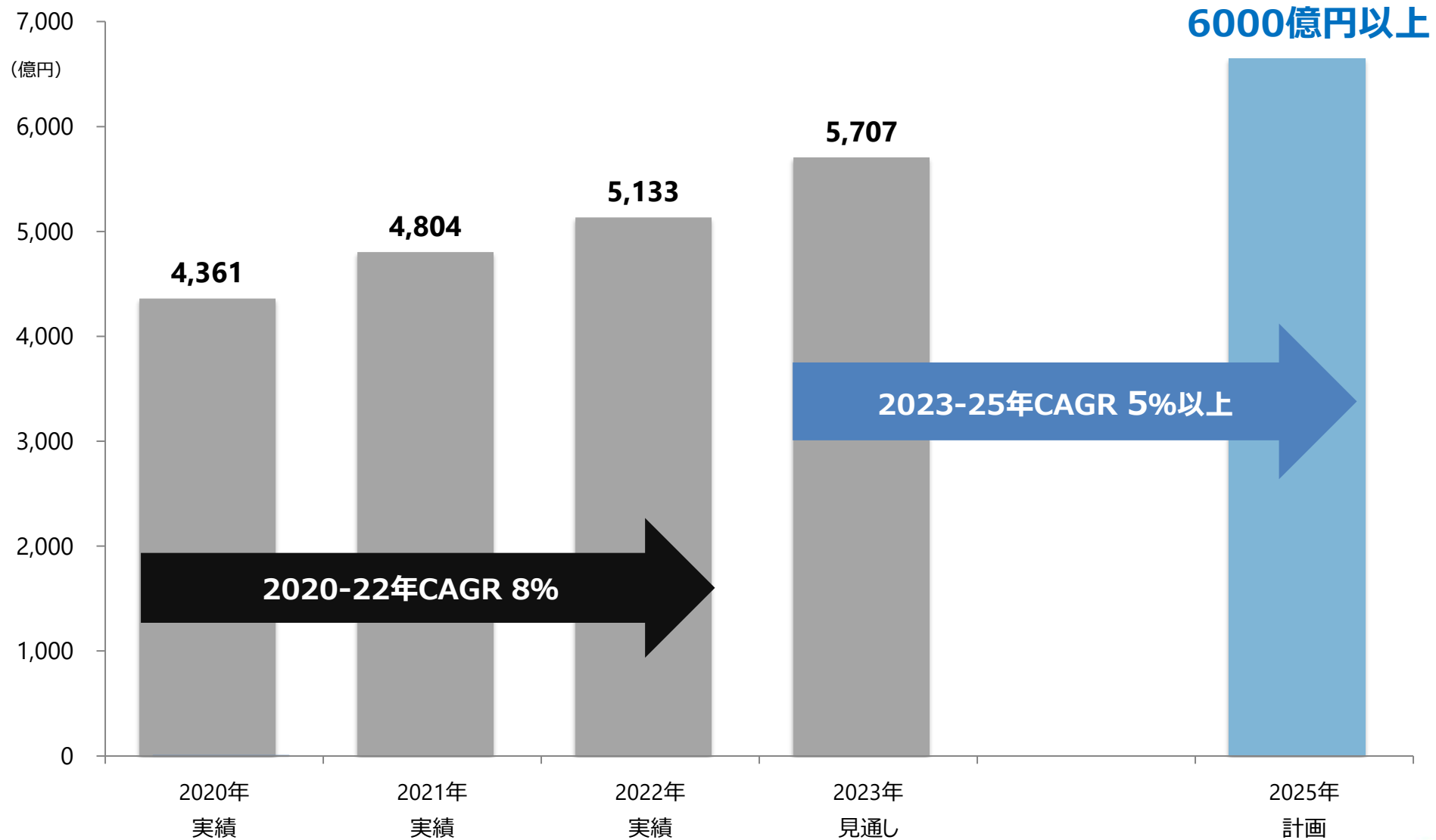
専務執行役員 メディカルグループ管掌

瀧口 登志夫

**Canon**

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

# 5か年計画 グループ売上高



# 今後の成長戦略

**基本方針** 2020～2022年までは内部体制の強化を中心に取り組み、組織力の底上げを実現し、2023年以降トップラインを成長させる

2020

Stage#1

2022

## 成長エンジンの整備

### 製品力強化

- ・画像診断をコアに次世代技術開発による新たな価値提供
- ・体外診断／ヘルスケアIT事業のポートフォリオの強化拡大

### 販売力強化

- ・米国販売体制強化・プレゼンス向上
- ・CRMをベースにした営業生産性向上

### 事業体質・体制強化

- ・DXを取り入れた効率化推進
- ・ものづくりの体質変換



2023

Stage#2

2025

## 強化した体制と整備したエンジンによる成長の実現

**年率5%以上の売上成長を目指す**

- ・CTグローバルNo.1
- ・米国シェア10%以上の達成
- ・米国でのプレゼンスをグローバルに展開
- ・国内ダントツNo.1の実現



- ・売上増による利益の最大化

**営業利益率 10%以上の達成を目指す**



# 2022年の主な実績

## ■メディカルグループとして過去最高の売上利益達成

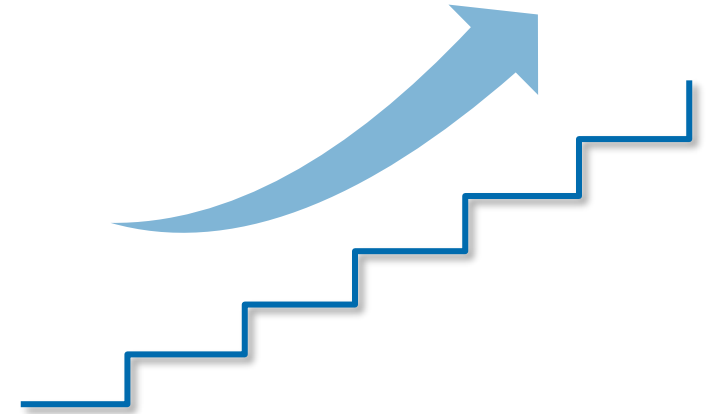
- 売上高 5,133億円 営業利益 310億円

## ■米国市場において8期連続 対前年増収

- 2022年2Qまでで8期四半期連続の増収を記録

## ■国内MRIシェアNo.1達成

- キヤノンのカメラ技術を取り入れ、ワークフローの改善を実現
- 国内1.5T市場で30%以上のシェアを獲得



# 2023年の主な取り組み

## フェーズVI 基本方針

2020～2022年までは内部体制の強化を中心に取り組み、組織力の底上げを実現し、2023年以降トップラインを成長させる  
 → **強化した体制と整備したエンジンによる成長の実現**

## ■製品力強化

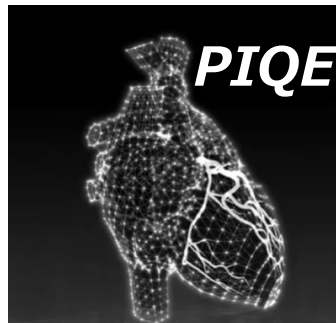
### PCCTの早期実用化

- 新たな臨床価値の提案
- CTグローバルNo. 1の達成



### AI技術による臨床価値の向上

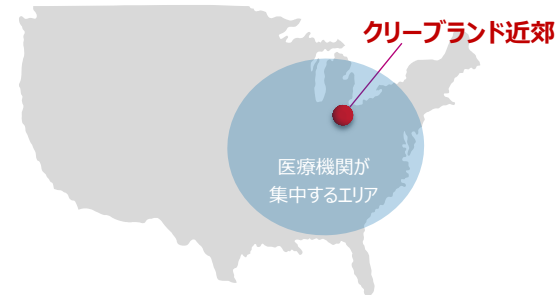
- 低被ばく高画質技術 (AiCE)
- AIを用いた超解像再構成 (PIQE)



## ■販売力強化

### 米国販売力強化

- 「Canon Healthcare USA, INC.」設立
- 米国でのプレゼンス向上
- グローバルでの競争力強化



### インド・中近東販売体制強化

- 2023年1月には新インド現法設立
- サウジアラビア・UAEでの事業拠点拡充も計画



## ■事業体質・体制強化

### 売上総利益の増出

#### <原価低減>

- ものづくりの体質変換
- 「プロダクトバリューエンジニアリング推進室」設立



#### <生産性向上>

- CRMをベースにした営業の型化
- 一人当たりの売上高を向上



# キヤノンならではのPCCTを早期に実現

- 半導体検出器モジュールの開発・製造を行うカナダのレドレン・テクノロジーズ社を2021年に買収
- レドレンの技術を生かした国産初となるフォトンカウンティング検出器搭載のX線CTを開発
- 日本の国立研究開発法人国立がん研究センター先端医療開発センターに設置完了、臨床評価を開始

今後の実用化に向けて、

米国の医療機関との共同研究を開始

KOL戦略とPCCT臨床価値向上施策を推進

新たな臨床価値を持つPCCTを早期に実現

CTのグローバルNo.1を達成



# 米国に新会社を設立

1. 会社名 **Canon Healthcare USA, INC.**

2. 所在地 アメリカ合衆国 オハイオ州

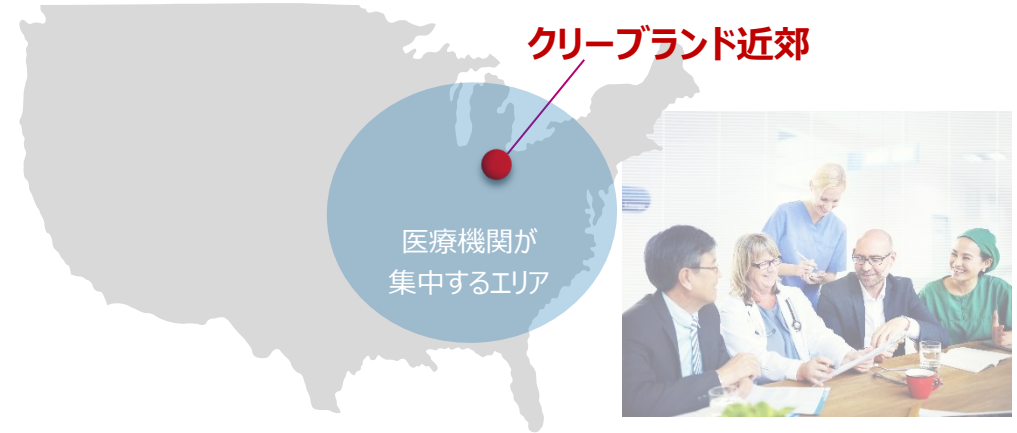
3. 代表者  
 会長 藤田 浩之 (ふじた ひろゆき)  
 社長 立崎 寿 (たちざき ひさし)

4. 事業内容 医療機関との連携によるマーケティング活動

5. 設立年月 2023年2月1日 (登記完了)

6. 出資比率 キヤノン株式会社 (100%)

7. 従業員数 20人 (予定)



マーケティング  
活動の強化

×

顧客連携の強化

×

事業体制の強化



米国でのプレゼンス向上による  
グローバル競争力強化



# 原価低減活動の加速

ものづくりの体質変換に向け、「**プロダクトバリューエンジニアリング推進室**」を立上げ、**コンカレントエンジニアリング**、**ユニット内外製統制**を推進

あらゆる原価・コストを低減：生産プロセス上の更なる生産効率の向上／歩留まり率の改善／後戻り作業の撲滅

開発設計と製造現場が一体となって作り上げる  
品質視点で、最善の生産プロセスによる「ものづくり」を実現



キヤノン医療機器のキーコンポーネントの  
原価低減を加速



キヤノン取手工場の成功事例を横展開



# メディカルグループの目指す方向 ～プレジジョン・メディシンへの貢献～

## 現在の事業参入領域

検査・診断

## 事業拡大領域

個別化治療をサポートするソリューション

体外診断・バイオ

検体検査



病理診断

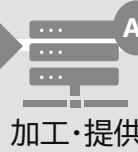
リキッドバイオプシ

遺伝子検査

再生医療



収集・統合



加工・提供

診療支援システム

読影支援システム

融合

画像診断・ヘルスケアIT

進化の軸

AI

誰でも簡単に、素早く、よりきれいに

形態診断

動態診断

機能診断

次世代画像診断機器 PCCT



発展の軸

AI

立位CT



CT：超高精細胸部画像

CT：心臓動態画像

MR：脳神経走行画像

## Clinical Decision Support の実現

ビックデータ解析

クラウドプラットフォーム

遠隔診断サポート

## 自家 iPS細胞の製造

再生医療プラットフォーム



プレジジョン・メディシン

## 個別化治療

- 投薬治療
- 外科治療
- 細胞治療
- 再生医療